北海道公立大学法人

札幌医科大学大学院

保健医療学研究科

看護学専攻 博士課程前期／後期

理学療法学・作業療法学専攻 博士課程前期／後期

Sapporo Medical University
Graduate School of Health Sciences
The Nursing Program and the physical Therapy and
Occupational Therapy Program

地域医療への貢献と

地域の保健・医療への貢献

専門分野の実践への貢献

▶ 教育理念

　医療技術の進展、少子高齢化社会の進行、疾病構造の変化など、保健・医療・福祉を取り巻く社会動向は大きく変わりつつある。さらに、人々の生活環境の多様化、健康に対する意識の変化を背景に、保健・医療・福祉に対する期待は一層高まってきている。

▶ 保健医療学研究科の特色

　本研究科は、北海道の保健・医療・福祉への貢献を大きな目的とし、保健医療学の質的向上と充実に寄与する高い専門性と研究力を備えた研究者・実践者を育成することを目的に、看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻を開設しています。

全国では２番目、北海道内で初の開設である伝統と歴史ある大学院

　平成10年４月に博士課程前期（修士）、平成12年（看護学専攻は平成18年4月）に博士課程後期（博士）を開設し、全国の保健医療系大学院の中でも伝統ある大学として先駆的な役割を果たしています。

より高度な保健医療人の育成を目指す医療系総合大学

　本学は医学部、保健医療学部の２学部４学科で構成される医療系総合大学です。保健医療学研究科は看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻からなり、各医療分野の課題探索に加え、共同研究による学際的な研究の機会が得られます。

社会人にも対応する学習環境

　長期履修制度を導入し、職業を有している社会人が仕事と学業を両立できるよう支援しています。
　また、24時間利用可能な図書館（全国に先駆けて最新の文献検索システム、文献複写システムを導入）と情報システムサービスの機能を備えた附属総合情報センターを併設し、仕事帰りも利用できる、あるいは自宅にいながら500タイトル以上の学術雑誌を閲覧できる環境を有しています。

看護学専攻の特色

修士論文コースと専門看護師コースの
２コースを設置

　博士課程前期には修士論文コースと専門看護師コースの2コースがあります。専門看護師コースの実習は隣接する大学附属病院を中心に、道内の医療機関等と連携した学習環境を整えています。博士課程後期では、看護学の発展に寄与する研究を国内外に発信する10領域を開設しています。

理学療法学・作業療法学専攻の特色

基礎から臨床までの専門性の高い
多様な教育研究領域を設置

　博士課程前期は理学療法学・作業療法学の基礎科学から臨床科学までを攻究できる15領域を、博士課程後期はより先端的な研究を目指す12領域を開設しています。臨床研究のフィールドとして附属病院を活用することも可能です。

医学・医療の攻究

国際社会への貢献

保健医療の教育・研究への貢献

札幌医科大学保健医療学研究科では、関連諸科学と医療の進歩に対応し、地域の保健・医療・福祉の充実と社会の発展に貢献するために、豊かな学識を備えた医療人を育成するとともに、高度な研究能力を培うことを目指す。

▶ アドミッションポリシー

求める学生像

保健医療学研究科では、看護学・理学療法学・作業療法学の発展と、保健・医療・福祉の質の向上に寄与する高度な専門的知識、実践能力、研究能力を備えた実践者、研究者の育成を目指しています。そのため、以下のような人材を求めます。

〈博士課程前期〉

【知識・技能】

1．看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な知識と技術を備え、批判的・論理的思考力を有している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2．保健・医療・福祉の諸問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

3．多様化・複雑化する人々のニーズに応えるため、専門分野における卓越した実践能力を獲得したいと願っている人
4．豊かな人間性と論理性を有し、地域の保健・医療・福祉に貢献する意思のある人
5．研究成果を発信することにより、保健・医療・福祉の充実と発展に貢献する意思のある人

〈博士課程後期〉

【知識・技能】

1．看護学・理学療法学・作業療法学に関する専門的な学識、批判的・論理的思考力と科学的探求心を備え、新たな知の創造に意欲を有する人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

2．保健・医療・福祉の諸問題に広く深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わることを自己の目標としている人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

3．豊かな人間性と倫理性を有し、国際的な視座で人々の健康に貢献する意思のある人
4．研究成果を国内外に広く発信することにより、保健・医療・福祉の発展に貢献するとともに、科学の発展に寄与したいと願う人

＊ホームページに、より詳しく掲載しておりますのでご覧ください。
https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy-att/03bqho000022u4b1.pdf

▶ カリキュラム

前期課程は、リサーチワークとコースワークを組み合わせたカリキュラム編成となっております。

本研究科では、2専攻を有する強みを活かして、研究倫理、保健医療情報システム、ヒューマンサイエンス研究法、保健医療統計学、病態生理学、病態治療学など、多様な学問基盤に対応するユニークかつ豊富な2専攻合同の共通科目を開講しています。専門科目については、基礎研究から臨床研究まで幅広い分野での研究が可能な教授陣の指導の下、特論・特論演習において専攻領域の専門性を深め、修士論文・課題研究において一連の研究過程をたどります。

専門看護師コースにおいては、高度な実践能力を培うための臨床実習が行われます。

看 護 学 専 攻

看 護 学 分 野　教 育 研 究 領 域

博士課程前期

▶ 修士論文コース

あらゆるライフサイクルにある人、その家族、あるいは地域社会という幅広い課題をテーマとし、研究能力の開発を目指す修士論文コースは以下の10領域を設置しています。

- 基礎看護科学
- 感染看護学
- 女性健康看護学
- 小児健康看護学
- 成人健康看護学
- 老年健康看護学
- 精神看護学
- 地域看護学
- 臨床内科学
- 臨床外科学

▶ 専門看護師コース

日本看護協会が認定する専門看護師*（CNS）を目指す3分野の専門看護師コースを開講しています。いずれも日本看護系大学協議会の高度実践看護師教育課程（38単位）の認定を受けています。

*資格取得には一定の実務経験と認定審査を受ける必要があります。

- 小児看護
- クリティカルケア看護
- 精神看護

博士課程後期

看護学のより高度な実践力を修得することはもとより、専門分野における高度な研究能力と深い学識を修得し、看護学各領域の研究成果を独創的な視点で企画し、その成果を広く発信できる研究者、教育者を育成することを目的として10領域を開設しています。

・基礎看護科学

…看護実践における科学的根拠ならびに心身の健康に関するテーマを探求します。

・感染看護学

…感染症患者や易感染状態の患者や家族の支援、および施設内や地域での感染制御システムの構築について科学的に探究します。

・女性健康看護学

…女性とその家族の健康問題を看護の視点から科学的に探求し援助方法論の開発を目指します。

・小児健康看護学

…小児と家族のQOL向上に寄与する根拠に基づく看護実践方法の開発を目指します。

・成人健康看護学

…成人期の状況的危機や基礎的研究について科学的視点より看護現象の応用を検証します。

・老年健康看護学

…高齢者の健康問題とその背景を総合的に考察し援助モデルの開発を探求します。

・精神看護学

…精神の健康問題に取り組む個人・家族・周囲への援助方法および実践モデルの確立と開発を目指します。

・地域看護学

…地域、在宅、産業、学校などの生活の場を対象として、系統的に健康を支援する科学的方法を探求します。

・臨床内科学

…生活習慣病・心臓血管病・腎臓病の病態や疫学について学び、その予防や内科的管理における実践的な看護理論を探求し新しい知見を得ることを目指します。

・臨床外科学

…疾患の病態、科学的根拠に基づいた治療戦略に関する最新知見を学習し、実践医療における看護学の新たな可能性を探求します。

<成人健康看護学の研究風景>

<疫学・社会調査法特論1の講義風景>

<看護学専攻・学位論文発表会>

修了生からのメッセージ

北海道文教大学　医療保健科学部看護学科　髙橋 洋介

（看護学専攻　博士課程前期　成人健康看護学分野　修了）

　私は他大学の医学部看護学科を卒業後、大学病院に就職し集中治療部や救命救急センターなどで勤務してきました。臨床経験を重ねるごとに看護の奥深さを実感し、臨床における現任者教育や蘇生技術講習のインストラクターなどを経験する傍らで生じた疑問について探求をしたい、自身の教育力をさらに向上させたい、という思いから大学院への進学を決心しました。

　在学中は、札幌市内の病院で勤務を続け、夜勤をしながら大学院での学びを深めました。本学は指導教員をはじめとする多くの方からサポートを受けることができ、看護学の探求や研究活動に取り組むことができる非常に恵まれた環境となっています。講義やゼミではディスカッションが中心となっており、考えや思いを整理し表現する能力を鍛えることができ、自身が臨床現場などで教育を行う際や学会発表などの場でその能力は大いに役立っています。また、先輩や後輩、同期といった学びを深め話し合うことができる仲間にも出会えたことで、今後の教育・研究活動への活力も得ることができました。

　今後は、教育者・研究者として看護学に貢献することができるようさらに自身の学びを深めるとともに、博士課程後期への進学も検討しています。

　是非、皆様も札幌医科大学の大学院への進学を検討してみてください。

理学療法学・作業療法学専攻

博士課程前期

本課程では基礎医科学系分野と臨床医科学系分野の教授陣を配置し、理学療法学・作業療法学の基礎科学から臨床科学までを攻究できる15領域を開設し、保健医療の中で重要な理学療法学・作業療法学の専門領域の基盤となる高度な知識、健康の追求に必要な科学的根拠、質の高い専門的技術が提供できる人材を育成することを目的としています。

博士課程後期

本課程では理学療法学・作業療法学の基礎科学から臨床科学までの専門性の高い先端的な研究を目指すため、12領域を開設し、様々な医療拠点、研究拠点において、問題の解決に果敢に挑戦し、成果を国内外に発信できるリーダーであり、深い学識を持って信頼される専門性を持った医療者・研究者を養成します。

理学療法学分野　教育研究領域

●神経・発達障害理学療法学 前期 後期

神経系の発達を含む神経生理全般の最新知見に触れながら、神経障害、運動発達障害に関連する様々な事象を総合的に学びます。

●生体工学・スポーツ整形外科学 前期 後期

生体工学（バイオメカニクス）では、ヒトの運動や機能を力学的観点から解析します。

●スポーツ理学療法学 前期 後期

スポーツ活動を実践するあらゆる母集団やクライアントを対象として、安全で効果的なスポーツ活動や運動療法の研究を進めています。

●高齢者・地域健康科学 前期

医療・保健・介護領域におけるデータを活用し、地域在住高齢者の健康問題を解決するためのデータサイエンスについて学びます。

●筋機能制御学 前期 後期

科学的根拠に基づいた筋弱化に対する効果的な運動・物理療法プログラムの具現化を目指しています。

●生体機能評価学 前期 後期

非侵襲の医用イメージング技術と運動学的手法を活用し、ヒト生体軟組織の形態・機能・性状の包括的な評価方法について研究しています。

●形態人類学 前期 後期

様々な人類集団における、形態の環境適応や機能的適応の変遷を探る研究が対象となります。（※令和7年度募集なし）

作業療法学分野　教育研究領域

●感覚統合障害学 前期 後期

感覚情報の脳内処理メカニズムとその問題によって生じる行動上の特徴を、反応時間課題、道具操作時の運動特性、姿勢保持を行いやすくする座面シートの開発等から明らかにしています。

●中枢神経機能障害学 前期 後期

高次脳機能障害や運動機能障害及び感覚機能障害の症状特性と機能回復のメカニズムについて学習し、より適切な評価方法や介入方法についての検討を行います。

●活動能力障害学 前期 後期

日常生活に不可欠な上肢・手指機能に注目し、身体に障害を持った方と作業活動の間の相互作用、影響要因を、基礎的研究や臨床研究を通して明らかにしていきます。

●臨床精神・脳機能学 前期 後期

臨床精神医学の基礎を概観し、精神疾患を脳機能の観点から理解を深めることで、精神科診療におけるリハビリテーションの研究開発と洗練された臨床実践を目指します。

●精神障害リハビリテーション学 前期 後期

精神障害を持つ人の主体的な回復（リカバリー）を目指し、脳活動や各種心理的指標を用いて認知や感情、行動特性の検討とリハビリテーションの開発・検証を行います。

●神経・認知機能治療学 前期 後期

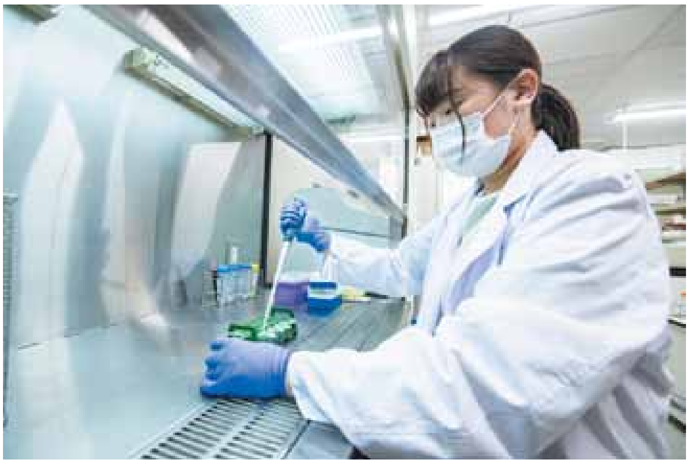
脳卒中、認知症、神経難病など臨床現場における課題分析や疾病教育を通して、治療学へ貢献するとともに、専門職が活躍できる領域の拡大を目指します。

●作業科学 前期

作業科学は、作業とその作業を営む人々（作業的存在）を研究対象とする学問領域です。作業と作業的存在を理解するための主要な概念と理論、さらに作業と健康との関連を探求します。

●地域生活科学 前期

地域で生活する高齢者や障害者のケア推進、地域住民の疾病や予防に対するセルフマネジメント、地域住民が主体となる地域エンパワメントの展開、さらにノーマライゼーションの視点で地域リハビリテーションを科学します。（※令和7年度募集なし）



＜筋機能制御学ゼミの実験風景＞

＜活動能力障害学特論の風景＞

修了生からのメッセージ

国立研究開発法人　産業技術総合研究所　人間情報インタラクション研究部門
身体情報研究グループ　坂本 琳太郎
（理学療法学・作業療法学専攻　博士課程後期　スポーツ理学療法学分野　修了）

大学院には、どのようなイメージを持っていますか？自分にはハードルが高いと考えている人も少なくないと思います。ですが、大学院への進学は、将来のキャリア形成の1つの手段であり、高いハードルはありません。そして、大学院では自身が想像している以上に、高度な専門知識を学べるだけでなく、広い人脈を築くことができます。

実際、私は大学院にて、研究活動に専念するだけでなく、札幌医科大学の広範な人的ネットワークを通じ、内部障害理学療法の基礎となる呼吸循環・代謝機能に関する専門的な知識や技能を身に着けることができました。さらに博士課程在籍中、研究活動のみならず、附属病院の非常勤理学療法士として、他の病院では経験する機会が少ない高度な症例を担当する臨床経験を積むことができました。このように札幌医科大学大学院では、研究と臨床の双方の視点を高いレベルで学ぶことができます。

大学院博士課程後期修了後、私は、国立研究開発法人である産業技術総合研究所に研究員として入所しました。理学療法士は、臨床現場だけでなく、臨床に繋がる科学的知見を創出する研究者の立場として活躍する道もあります。札幌医科大学大学院では、研究と臨床の2つの活動を通じ、将来的なキャリア形成への様々な選択肢を得る事ができる有益な経験を積むことができるでしょう。是非、札幌医科大学大学院への進学を検討してみてはいかがでしょうか？

医療法人社団 花水木　札幌こころの診療所　片岡 弘美
（理学療法学・作業療法学専攻　博士課程前期　精神障害リハビリテーション学分野　修了）

私は、地方の医療機関で精神科作業療法の臨床経験を積んでから大学院に進学しました。臨床の中、必要に追われながら学びを広げ研鑽を積もうと努力してきました。しかし、自分なりに文献を調べても必要な知識を得られなかったり、思うように知見を深められなかったりと限界を感じるようになりました。臨床での疑問を明らかにしたい、現象の理解を深めるための思考を身に着けたいと思い、大学院進学を決めました。

進学に伴う転職にあたり、指導教員の先生には入学前から相談させて頂きました。入学後も勤務形態等への配慮など仕事との両立を支えてくださいました。研究では多くの苦労がありましたが、先生方や他の大学院生が研究内容に興味を持って聞いてくださること、自分とは異なる視点から意見を頂けることが大きな励ましとなりました。

大学院で実際に学ぶのは研究の方法ですが、それは臨床にしっかりつながるものでした。論文の理解が深まっただけでなく、その際の批判的・論理的な思考は臨床の理解に役立っています。また、ゼミや各講義での発表とディスカッションの経験は自身の思考過程を言語化する訓練となりました。大学院で得られたものは、今後どのようなキャリアに進もうと、確実に役立つだろうと思えるものでした。研究をしたい方はもちろん、臨床で不全感を持っている方、もっと深く探求したいという思いを持っている方に、大学院進学は一考の価値があるものと確信しています。

長期履修制度

社会人入学生等を対象に、標準修業年限を超えて履修する制度を設けています。長期履修の申請にあたっては、事前に指導予定教員と相談してください。

- **申請資格**
  長期履修の申請ができるのは、職業を有している等の事情により、標準修業年限において修了することが困難と見込まれる方です。職業を有している等とは、有職者（正規職員以外を含む）その他のやむを得ない事情にあることをいいます。

- **修業年限及び在学期間**
  博士課程前期　4年（標準修業年限　2年）
  博士課程後期　6年（標準修業年限　3年）

- **申請時期**
  長期履修希望者は入学試験合格後、別に定める期間内に「長期履修申請書」を事務局学務課大学院係に提出してください。
  なお、入学後における申請は認めません。

- **授業料**
  授業料の年間納付額は、通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数（博士課程前期2年、博士課程後期3年）を乗じて得た額を、長期履修を認められた年限の年数（博士課程前期4年、博士課程後期6年）で除した額とします。長期履修を認められた学生が、履修期間を短縮する場合は、授業料の差額を納付しなければなりません。
  なお、在学中に授業改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

科目等履修制度

本学大学院学生以外の方に、大学院で開講する一部の授業科目の履修を認め、一定以上の成績を修めた場合に本学大学院の単位を授与します。修得単位は、将来、本学大学院に入学された際に、原則として10単位まで修了単位とすることができます。その他聴講生も受け入れています。

＊詳細は下記あて先までお問い合わせください。

アクセス

- 地下鉄東西線「西18丁目駅」6番出口より徒歩5分
- 市電「西15丁目」より徒歩5分
- JR札幌駅バスターミナルよりJR北海道バス(啓明線［51］)「医大病院前」下車
- JR桑園駅よりJR北海道バス(桑園円山線【桑11】)「医大病院前」下車

大学院に関するお問い合わせ先

北海道公立大学法人 札幌医科大学 事務局学務課大学院係
〒060-8556　札幌市中央区南1条西17丁目
電話：011-611-2111（内線23770）
URL:https://web.sapmed.ac.jp/hokegaku/graduate/nyuushi